

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		災害時の地域との連携が計れていない。	災害時、地域との連携を図り、不測の事態に備える。 愛知県立大学清水教授、百瀬教授の指導によりマニュアル作成を目指している。	地域の自主防災に参加する。 災害時の地域との協力体制を構築する。 愛知県認知症災害支援モデル事業に参加し防災マニュアルを作成する。	12ヶ月
2		家事活動に参加している方が限られており全員が参加できていない。	掃除機。拭き掃除ここに出来る事を考え実施する。	入居者。スタッフ全員で掃除をする時間を作る。	12ヶ月
3		認知症カフェの参加人数が少ない。	認知症カフェの内容の充実。 年間内容のスケジュールを作る。	運営推進会議などで詳しい情報を伝え、地域の役員の方にも参加を呼び掛けてもらう。 回覧板など詳しい情報提供をする。	12ヶ月
4		施設内勉強会の内容が乏しい。	施設内勉強会の内容の充実。	認知症の理解・身体拘束についての研修の勉強会を増やす。 勉強会後の自己評価をする。	12ヶ月
5		「その人らしい暮らし」の情報が不足しており介護計画に生かし切れていない。	日々、充実した生活が送れる。その人が出来る事を維持することが出来る。	その人らしい充実した生活が送れるような取り組みをする。重症化しないよう、運動の機会を継続し体力維持に努める。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。